

令和4年度 西表東部地区学力向上推進計画

はじめに

これからの学校には、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

新学習指導要領では、将来の予測が難しい社会を生き抜く「資質・能力」を育むために「社会に開かれた教育課程」や「カリキュラム・マネジメント」の充実、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を求めている。

本町では、「幼児児童生徒一人一人の可能性を伸ばし、自律と自立により未来を切り拓く資質・能力を育成する」を目標に、「ばいぬ島っ子プラン」の推進を図ってきた。その結果として全国学力・学習状況調査においても、八重山地区や県の平均を上まわる結果が出てきている。また、地域においても、各子ども会育成会でも子どもたちの生活リズムの確立等に力を入れることで、地域と家庭そして学校が一体となって活動する場面が見られる。

しかし、中学校卒業と同時に生まれ育った環境から離れる現状を考えたとき、人との関わりを円滑にする豊かな表現力の乏しさ、自己肯定感の低さなどが、アンケートから伺える。それらの課題を踏まえ、今年度は、沖縄県の新施策、「学力向上推進5カ年プラン・プロジェクトⅡ～学びの質を高める授業改善・学校改善～」・「令和4年度版ばいぬ島っ子プラン」を受け、これまでの体制を進めていく。そのためには、目的意識の高揚を図るため進路指導の充実を図るとともに自立の土台となる基礎学力はもちろん、本地区幼児・児童・生徒のおかれている現状に即した「主体的・創造的に社会を生き抜く力」「表現力・コミュニケーション能力」の向上と、『郷土に誇りをもち、たくましく未来を生き抜く力を身につけた幼児・児童・生徒の育成』を図ることを目指していきたい。

1 西表東部地区学力向上推進の目標

郷土に誇りをもち、たくましく未来を生き抜く力を身につけた幼児・児童・生徒の育成

2 基本方針

- (1) 県教育施策（学力向上推進5カ年プラン・プロジェクトⅡ、「問い」が生まれる授業サポートガイド等）、町教育施策（令和4年度版ばいぬ島っ子プラン等）を踏まえて推進する。
- (2) 体験活動の中で、他者と協議しながら課題解決し、新たな価値を生み出していく力の育成を図り、各校で成果の共有を行う。
- (3) 各公民館を中心とした学力向上の一層の推進を図り、婦人会・青年会・老人会等で子供と共に行う活動を計画し実践する。また、東部地区を豊原、大原、大富、古美（古見・美原）の4地区に分け、各地区の実態を踏まえた活動を推進する。
- (4) 東部地区の地域教育資源リストを作成・活用する。
- (5) 「育ちの地図」を通して東部地区の園や学校、家庭・地域で共通の目標を持ち、実践する。

3 取り組み事項

(1) 学校教育部会

- ①本地区児童生徒に育成すべき資質・能力
 - ・中学校を卒業すると親元を離れて自立しなければいけない現状がある。それまでに生きる力＝「確かな学力、豊かな心、健やかな体」を育むことが求められている。仲間と協働し、課題を解決していく意欲も大切である。
- ②質的授業改善（方策1 日常化する）
 - ・「学校デザインシート・フォーカスシート」の作成
 - ・「授業づくりスタンダード」の作成と活用
 - ・他校と連携した授業研究会
- ③組織的共通実践（方策2 そろえる）
 - ・規範意識、あいさつ・マナーの向上
(あいさつ運動・スマイル朝会・一分間SP等)
 - ・学習環境の充実（学習用具・話形・学習の振り返りの視点等）
 - ・読書活動の充実（ブックトーク・読み聞かせ・なかよし読書等）
 - ・家庭学習の習慣化
- ④発達の支援（方策3 支える）
 - ・基礎・基本の定着（パワーアップタイム・スキルアップタイムの実施）
 - ・学びに向かう集団づくりを進める児童会、生徒会活動
(委員会朝会・古見っ子会議・委員会サミット等)
 - ・教育相談、教科面談週間の設定
- ⑤学校組織マネジメント（方策4 見通す）
 - ・校内研修の充実
 - ・授業改善アンケート（教師用、生徒用）
 - ・フォーカスシートの活用（到達目標、振り返り）
- ⑥学校連携・地域連携（方策5 つなぐ）
 - ・幼小中連携について（交流学习・ハッピータイム（異学年交流）等）
 - ・体験活動の充実（ キ 植え・ キ 刈り、田植え・稲刈り、職場体験・三大大行事等）
 - ・家庭・地域教育部会との連携の充実について
 - ・ボランティア清掃

(2) 家庭・地域教育部会

- ①家庭教育班（家庭）
 - ・「育ちの地図」を通して共通目標を推進する
 - ・家族の対話（夕食時1日の出来事を話し合う、明日の予定を話すなど）
 - ・テレビ視聴（番組を選んでみる、つけっぱなしにしないなど）
 - ・家庭学習の奨励
 - 小低学年:30～40分、小中学年:40～60分
 - 小高学年:60～90分、中学校:70分以上
 - ・生活日課表の作成（帰宅時間、就寝・起床時間、学習時間、家事手伝いなど）

- ・家庭読書の奨励（休日の読書、ファミリー読書、学校図書館の利用呼びかけなど）
- ・アンケートで実態把握（7月下旬、11月中旬）

②地域教育班（PTA、子ども会育成会、各公民館）

- ・学校行事及び体験的学習への支援、長期休業中のパトロール、PTA会報の発行
- ・子ども会行事の支援、親子キャンプ、ボランティア活動支援
- ・公民館行事への子供たちの参加（結願祭、入植記念祭、敬老の日、成人の日など）
- ・地域清掃活動への参加、空き缶ひろい、県道の清掃、花植え
- ・老人会（三世代交流会など）・青年会（中学生との野球やバスケット試合など）
- ・婦人会（行事の踊り指導など）
- ・のぼり、掲示板の作成

4 各地区地域懇談会の日程【7月に各地域で開催】※7月____日（ ）までに事務局に報告。

地区名	古見・美原地域	大富地域	大原地域	豊原地域	
開催日		7月13日（水）		7月13日（水）	
開催時間		18:00		18:00	
開催場所	書面報告	書面報告	書面報告	書面報告	
世話係	各子ども育成会・公民館・青年会・婦人会など				
司会	古見小	大原中	大原中	大原中	
担当職員	小	古見小全職員	木本・内野・東竹西	儀武・南風盛・大城	友利・上唐・當山
	中	波照間・河野	普久原・伊良波	新城・玉城	浜崎・稲福

※開催日、時間、場所等については各地区で決定し、事務局（大原中教頭）まで連絡する。

懇談会内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・全体司会：大原中各地域担当職員

(1) はじめの言葉・・・・・・・・・・・・・・・・・・全体司会

議 題・・・・・・・・・・・・・・・・・・議題進行：各地域子ども育成会

① 夏休み中の活動計画について（子ども会、小学校、中学校）

② 夏休み期間中の安全確保について（パトロール等）

③ 公民館等行事への参加について

④ 学校側あいさつ（小・中学校長）

(2) おわりの言葉・・・・・・・・・・・・・・・・・・全体司会

5 東部地区学力向上推進実践発表会

(1) 期 日：令和4年11月30日（水）（午後6時30分～午後8時00分）

(2) 場 所：離島振興総合センター

(3) 方 法

① 学校教育部会は、おおはら幼、大原小、大原中、古見小が輪番制で発表する。

※R4年度は各校での発表とし、次年度以降は検討とする。

② 発表時間を20分程度とし、発表方法はまかせる（子供たちを交えた発表でもよい）。

③ 家庭教育班は、隔年でPTAが発表する。

④ 地域教育班は、隔年で子ども育成会が発表とする（※発表以外も紙面報告を行う）。

※発表順は以下の表の通り

年 度		R1	R2	R3	R4	R5	R6
学校教育部会		おおはら幼	大原中	大原小	吉見小 各校対応	おおはら幼	大原中
家庭・地域 教育部会	家庭教育班	×	古見小	×	おおはら幼	×	大原小
	地域教育班	豊原	×	大原	×	古・美	×
上記発表以外の子ども育成会・・・紙上発表							

※R 4 年度学校教育部会発表は各校での発表とし、次年度以降は検討とする。

6 竹富町学力向上推進実践発表会

- (1) 期日：令和 5 年 1 月 2 8 日（土）時間： 時 分～ 時 分
 (2) 場所：竹富町離島振興総合センター

7 令和 4 年度 西表東部地区学力向上推進委員会 行事一覧

月 日	曜 日	行 事 内 容
4 月～5 月		各地区子ども育成会総会
6 月 29 日	水	第 1 回企画委員会(総会に向けて)
7 月 6 日	水	東部地区学力向上推進委員会総会
7 月 中旬		各地区地域懇談会
8 月 17 日	水	八重山地区学力向上推進教育講演会
11 月 7 日	月	第 2 回企画委員会
11 月 18 日	金	各学校・子ども会実践報告書まとめ提出
11 月 30 日	水	東部地区学力向上推進実践発表会
1 月 28 日	土	町学力向上推進実践発表会
2 月 日		各学校・子ども会活動報告まとめ（提出）
3 月 日		第 3 回企画委員会（今年度の振り返りと次年度確認）